

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	更生保護事業			
担当部署・課長名	福祉部福祉推進	課	庶務	係 課長名 嶋田 淳

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。		施策番号	2 - 6	-
【施策名】 地域福祉の推進		総合計画書 (ページ)	65	

予算名	款 3 民生費	項 1 社会福祉費	目 1 社会福祉総務費	事業 13 更生保護事業
-----	---------	-----------	-------------	--------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 保護司及び保護司会並びに更生保護女性会	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 保護司会・更生保護女性会活動出席延べ人数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 保護司及び保護司会並びに更生保護女性会の活動は、犯罪をした者及び非行のある少年の改善更生を助けるとともに、犯罪を予防し、地域社会の安全及び住民福祉の向上に寄与するものであるため、その活動に対して必要な協力をする。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 保護司会・更生保護女性会活動出席人数/保護司会・更生保護女性会 会員数
	③ そのために何をしましたか。 保護司及び保護司会並びに更生保護女性会の活動に対して必要な支援をする。	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 保護司会・更生保護女性会活動回数(総会・理事会・研修会・更生保護相談)

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	631	628	621	
	成果指標	②の数値	回	2.9	3	2.9	
	目 標	②の目標値	回				
		目標設定の考え方	会員一人当たりの平均活動回数。				
活動指標	③の数値	回	32	32	32		

3 経費	事業費(実績)		円	993,546	1,034,229	949,999	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	993,546	1,034,229	949,999	
		特定財源	円	0	0	0	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.2	0.2	
		所要人数(再任用)	人				
		職員人件費(再任用以外)	円	1,653,400	1,650,600	1,648,800	
職員人件費(再任用)	円						
事業費+人件費		円	2,646,946	2,684,829	2,598,799		

この仕事における市の裁量	市の裁量は大きい
--------------	----------

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 昭和25年に保護司法が制定され、更生保護制度が開始された。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 裁判員制度をはじめとする司法制度改革が進められており、保護司としても研修等を通じて制度の理解を深めていく必要がある。

仕 事 の 内 容	更生保護事業			
担当部署・課長名	福祉部福祉推進	課	庶務	係 課長名 嶋田 淳

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
	取り組んだ	取組手法	⑦後援・場の提供 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点			
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題			
8 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を維持する。		経費	仕事の経費は維持する。